自治体新電力のこれから

株式会社中之条パワー
代表取締役　山本政雄

１．いままでの取組と現状

中之条電力の設立

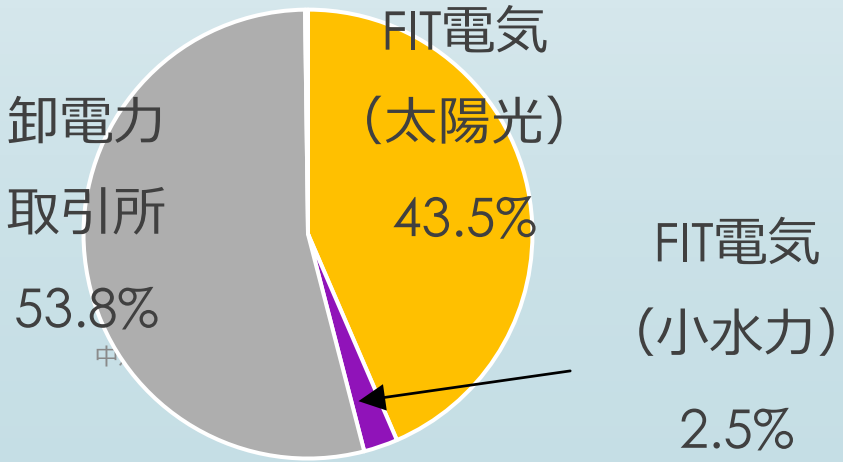
- 全国１００番目の新電力（PPS)
- 2013年9月10日登録
- 同10月10日営業開始
- 自治体中心の新電力は全国初
- 電力の地産地消をめざす
- 中之条町と㈱V-Powerの共同出資

自治体中心の新電力は全国初

中之条パワー資料

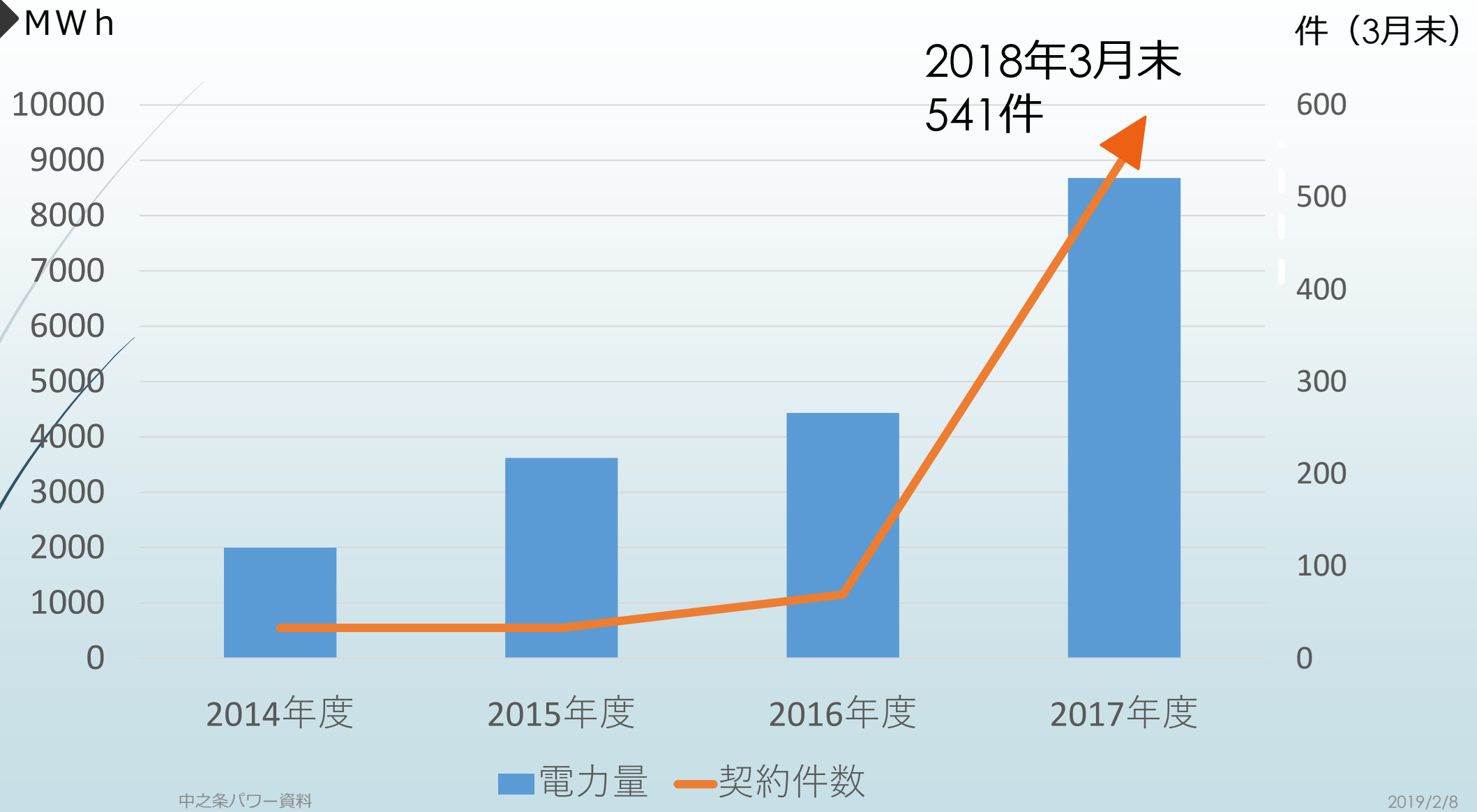
中之条パワーの電源施設（ＦＩＴ）

	太陽光発電所				小水力発電所
施設の写真					
発電所名	バイテック中之条	沢渡温泉第1	沢渡温泉第2	沢渡温泉第3	美野原
発電事業者	（株）バイテックエネスタ	中之条町	中之条町	中之条町	中之条町
稼動年月	2013年9月	2013年10月	2013年12月	2017年6月	2017年7月
最大出力	1000kW	1990kW	1990kW	1999kW	135kW



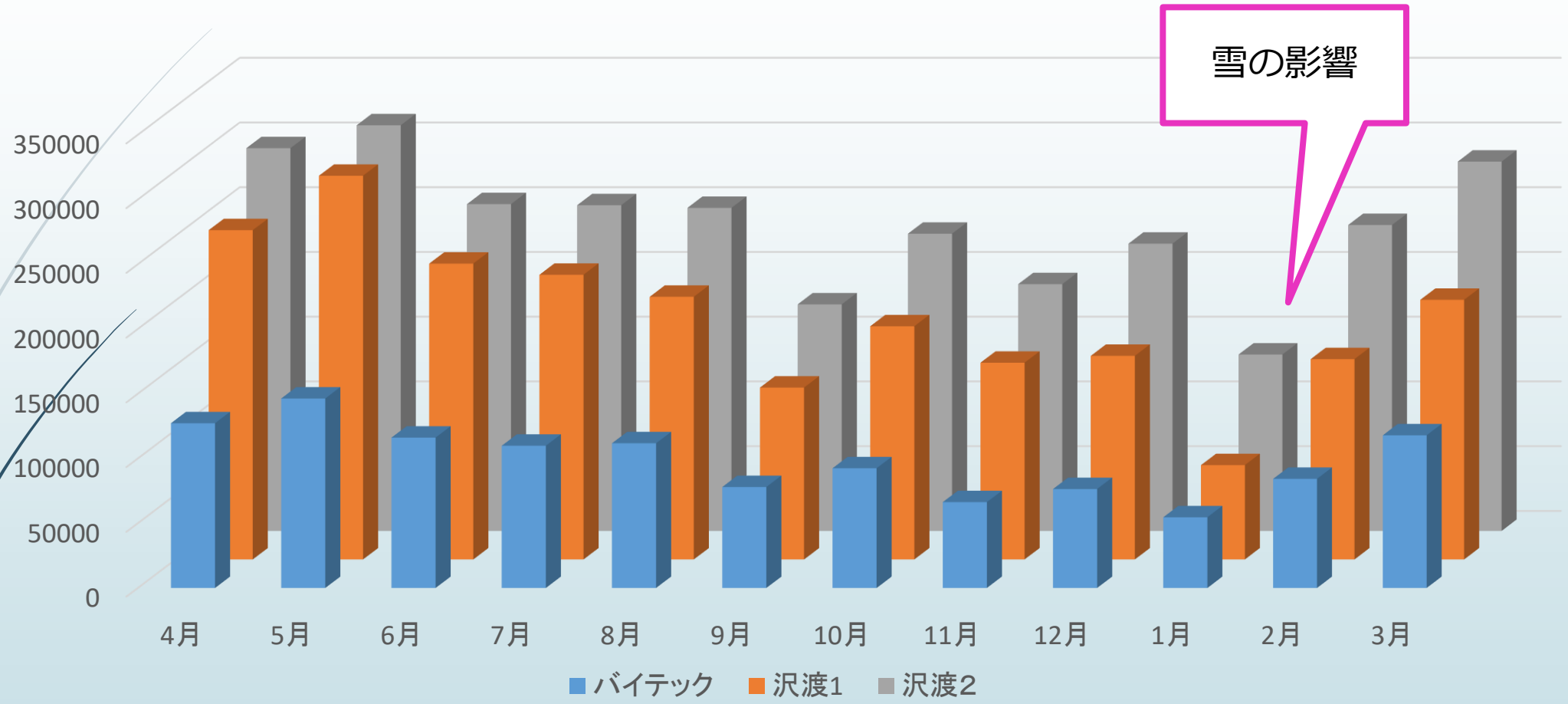
種別	電気量（千kWh）	構成比（%）
FIT電気（太陽光）	3,945	43.5
FIT電気（小水力）	222	2.5
卸電力取引所	4,879	53.8
その他	19	0.2
計	9,065	100.0

中之条電力（中之条パワー）の供給実績

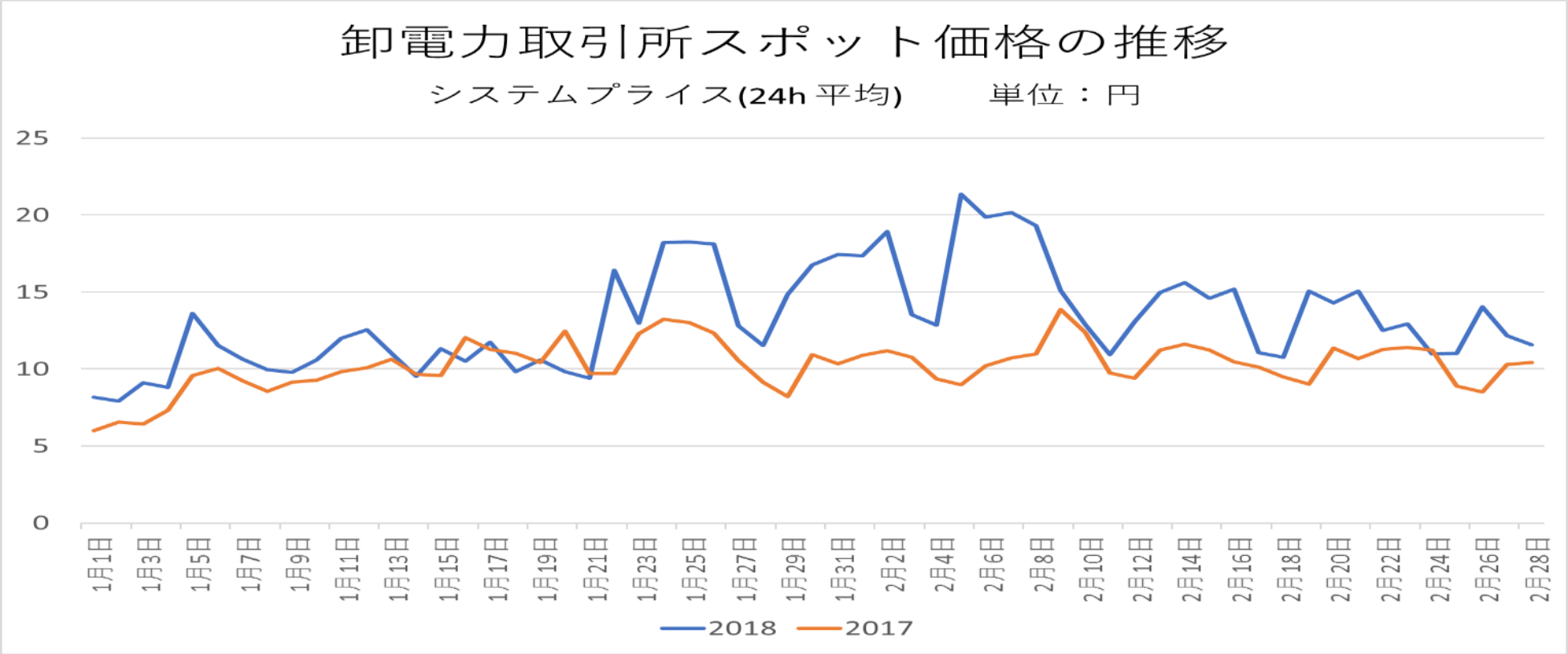


2．電力調達

発電状況（2016年度）


雪の影響
350000
300000
250000
200000
150000
100000
50000
0
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
バイテック
沢渡1
沢渡2

市場からの電源調達



- 卸電力取引所　2017年度実績53.8%
- 不足する電力は、卸電力取引所から調達しているが、１、2月の不足分が多い時期には市場価格も高騰する
- 調達における選択肢がほとんどない。全量市場調達とする新電力も存在する

再生可能エネルギーをめぐる当地域の状況

エネルギー自給率

順位	自治体名	比率
11	片品村	455.98%
22	高山村	244.49%
37	嬬恋村	172.67%
62	中之条町	124.74%
73	長野原町	108.86%
78	東吾妻町	104.43%

電力自給率

順位	自治体名	比率
10	片品村	714.70%
26	高山村	340.73%
42	嬬恋村	242.08%
63	中之条町	173.75%
83	長野原町	147.71%
87	東吾妻町	143.09%

群馬県吾妻郡内には2つの指標で100位以内が5自治体あります。

出典：永続地帯2017

中之条町の再生可能エネルギー発電施設

町内にはいままでに中小水力併せて、群馬県営の発電所が８箇所設置されている。

地産地消は羊頭狗肉か？

- 羊頭狗肉のエネルギー地産地消　新電力の再エネ供給は３～４割どまり
（2018.3.20　産経ニュース）
- 再エネの不足電力を卸電力から調達。そこには原子力も含まれる。
- 夜間も含め安定供給を図るべき
- 一般家庭への供給が再エネ比率を下げた。

など、新電力に厳しい論調

2018/7/11　羊頭狗肉のエネルギー地産地消　新電力の再エネ供給は３～４割どまり - 産経ニュース

産経ニュース　閉じる

2018.3.20 07:09

羊頭狗肉のエネルギー地産地消　新電力の再エネ供給は３～４割どまり

電力小売り完全自由化から4月で丸2年を迎える。この間、事業に参入した新電力会社の多くは、太陽光発電といった再生可能エネルギーの活用や脱原発、電力の地産地消を掲げる。だが、再エネで調達できる電力は全体の3～4割に過ぎず、看板に内実が追いつかない羊頭狗肉の状況と言える。「電気は薄利多売」として、副業に精を出す会社もある。　（中村雅和）

◇

福岡県みやま市が平成27年に設立した「みやまスマートエネルギー」は、市内の大規模太陽光発電（メガソーラー）などの電力を、市内に供給し、利潤を地域活性化に使うとする。

だが「地産」、すなわち地域で起こす電力量が、「地消」に追いつかない。特に夜間は太陽光発電がゼロとなる。

同社の28年度の電源構成を見ると再エネは28・2%で、残りの電力は、日本卸電力取引所からの調達だった。

卸電力取引所には、大規模な発電設備をもつ全国の電力会社や新電力が、余剰分を売り出す。当然、原発の電力も、そして原発が稼働していることで余剰となった電力が取引されている。

「地産」を徹底するならば、夜間も含め、安定供給の態勢を整備しなければならない。

だが、みやまSEは2年連続の赤字で債務超過に陥り、議会から厳しい追及を受ける。新規の大型投資ができる状況ではない。

自治体が主導した新電力の草分けが、群馬県中之条町の「中之条電力」だ。

25年8月に誕生した同社は、再生可能エネルギーの活用と電力の地産地消を通じて、「地域活性化に寄与する」ことを事業目的に掲げる。

設立当初の顧客は、夜間の需要が少ない役場庁舎などが主だった。

ところが、28年9月に家庭向け小売りに参入したことで、状況は変わる。

夜間を中心に、卸電力取引所からの調達が増えた。この結果、電力供給量に占める「地産」の比率は、5割から4割に下がった。

同社子会社で小売り事業を担う中之条パワーの山本政雄社長は「町内産の電力で100%まかなうという将来の目標はある。だが、現時点で具体的なロードマップはない」と語った。

資源エネルギー庁によると、国内の総販売電力量に占める新電力事業者の割合は12・2%（平成29年11月速報値）と、1割を占めるまでになった。

出所：http://www.sankei.com/region/print/180320/rgn1803200011-c.html

電源調達の課題

- H28年4月1日の固定価格買取制度の変更は、発電事業者には影響が少ないが小売電気事業者（新電力）への影響は非常に大きい
- 今後は、不足電源および激変緩和措置対象外の再エネ電源がマーケットの動向に左右され、経営リスクが高まる恐れがある

（2020年の経過措置終了後は全量マーケット価格で調達する可能性大）

- 既存の水力発電（中之条町の場合は県営）などは、旧電力会社との長期契約を理由として調達に参入できない
- 多様な電源からの調達機会が増えること、また電力市場の多様化を望む

３．今後の方向性

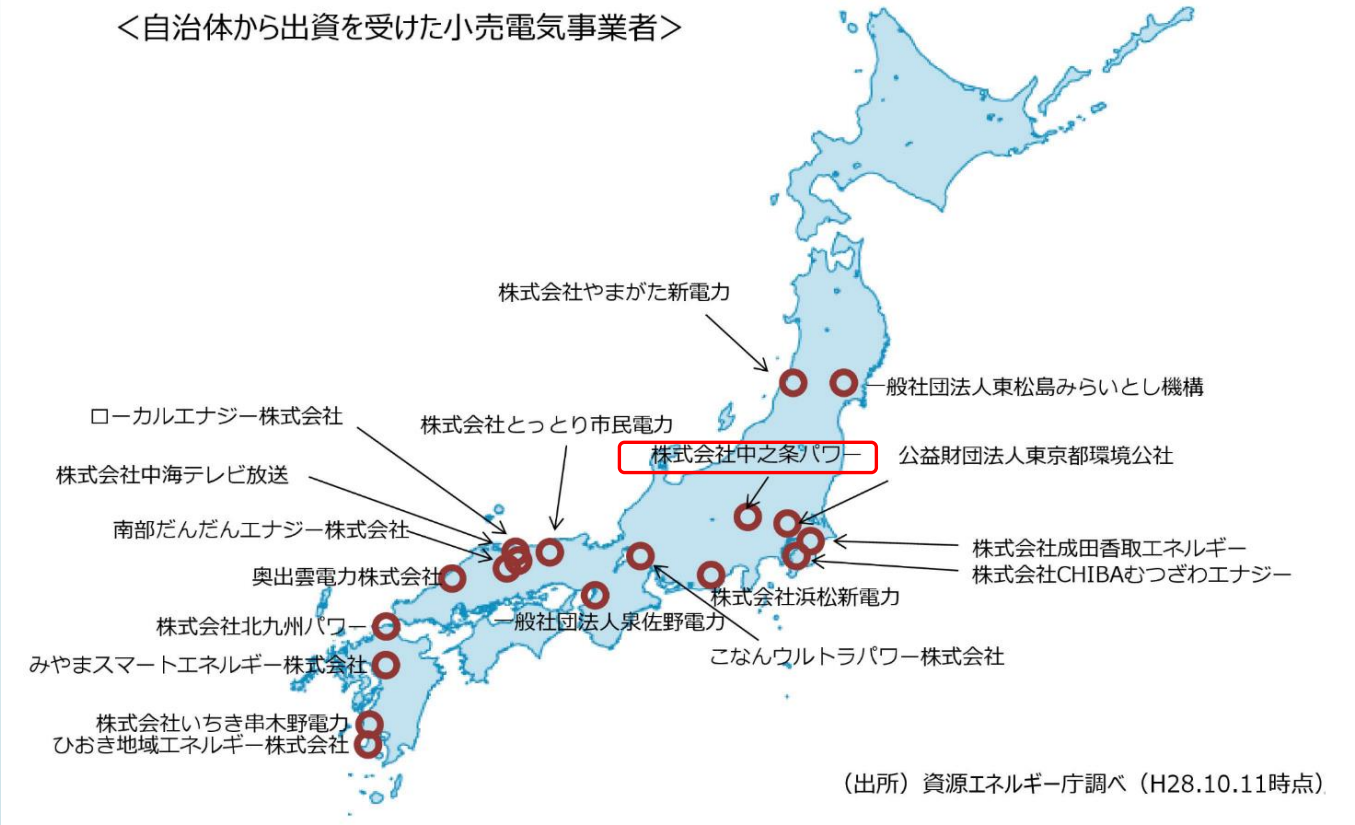
電力会社の分類

類　　型	特　　徴	おもな電力会社
大手電力会社	これまで地域独占で事業を進めてきた。発電事業と送配電を独占し人材とノウハウを所有する。新電力とは圧倒的な力の差がある。	東京電力、関西電力、東北電力など
エネルギー系	ガス会社や石油会社などのエネルギー系企業。もともと自前の発電所や供給先を持っている会社が多い。顧客とつながる窓口があり、セットプランなど設定しやすい。	東京ガス、ＪＸエネルギー、ＥＮＥＯＳでんきなど
通信系	携帯、インターネット関連など日ごろから顧客獲得に激しい競争を行っている。	ＫＤＤＩ、ジェイコム、楽天エナジーなど
異業種系	コンビに、交通、旅行など日ごろから顧客とつながっている。会員制度、ポイント制なども有利。	ＭＣリテールエナジー、東急パワーサプライなど
地域＆自治体系	電力の地産地消などを掲げ、自治体や地元企業などが出資。地域資源を活かし地域の自立を促す。供給範囲は限定される。	中之条パワー、浜松新電力、みやまスマートエネルギーなど
生協＆自然エネルギー系	自然エネルギーにこだわって販売していくが、地域は限定しない場合が多い。地域＆自治体系のようには発電設備がない場合もある	生活クラブエナジー、みんな電力

ジャーナリスト高橋真樹氏による分類

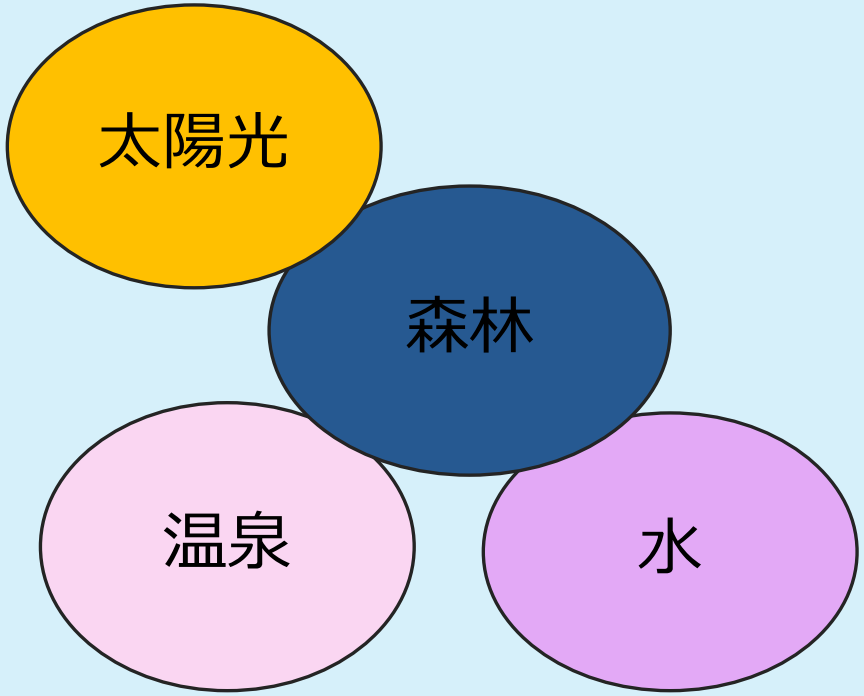
自治体新電力をめぐる動向

- 自治体新電力（自治体が何らかの関与）　４０事業者
- 日本シュタットベルケネットワーク
  - 正会員４社　中之条電力も正会員に
- 環境省、「多様な地域の課題に応える低炭素な都市・地域づくりモデル形成事業」
  - ２０１８年度　１２地域・自治体が業務受託、検討中
  - 新電力の設立、新たな事業モデルづくりなど
  - １月２５日中間報告会開催



地域エネルギー資源と今後の課題

地域エネルギー資源



今後の課題

- 地域資源の公共的活用
- 再生可能エネルギーの利用促進
- 地域の活性化につなげる
- 高齢社会への対応
- 災害に強い地域づくり

お礼の電力について

ふるさと納税サイト

お礼の品でチョイス | 地域でチョイス | 使い道でチョイス | ランキングでチョイス | おすすめでチョイス | 災害支援でチョイス

TOP > 地域でチョイス > 群馬県の自治体 > 中之条町 > お礼の電力　中之条町から再生可能エネルギーのお届け

ふるさと納税サイト No.1

満足度 利用率 お礼の品掲載数 申し込み自治体数 選べる使い道数

※1 2017年12月8日～11日マクロミル調べ ※2 2017年11月2日自社調べ

年間5自治体まで確定申告不要！ ワンストップ特例制度

✔ キーワードでチョイス

✔ 配送指定可能月でチョイス
※申込み時に配送希望月の記載が必要

- 1月配送
- 2月配送
- 3月配送
- 4月配送
- 5月配送
- 6月配送
- 7月配送
- 8月配送
- 9月配送
- 10月配送
- 11月配送
- 12月配送

✔ 特徴でチョイス

- オススメ チョイスからクレジット決済ができる(145980)
- オススメ チョイス限定(512
- チョイス公式ポイント制導入(8683)
- ポイント制導入(36104)
- 申込時に品も選択可(12385

群馬県 中之条町 (ぐんまけん　なかのじょうまち)

お礼の電力　中之条町から再生可能エネルギーのお届け

ふるさとチョイス限定　年何度でもお礼あり

250,000円以上の寄附でもらえる

常温 冷蔵 冷凍 定期 ギフト包 のし

♡ お気に入り

★ 寄附を申込む

【重要なお知らせ】
※お礼の電力につきましては、平成29年9月30日以前にご入金を頂きました寄附につきましては、寄附「1口150,000円」に対して「お礼の電力2,500Kwh及び特産品」を返礼いたします。平成29年10月1日以後にご入金を頂きました寄附につきましては、寄附「1口250,000円」に対して「お礼の電力2,500Kwhのみ」を返礼いたします。

自然と共生していく町づくりを目指す中之条町を応援いただける方へ、中之条町の大規模太陽光発電所で産まれた再生可能エネルギーを主要な電源とする電気をお礼の品として供給いたします。
【寄附額は一口150,000円とさせていただきます。】　※上記【重要なお知らせ】をご確認ください。
【寄附受付件数は50件(50名様)とさせていただきます。】

※「お礼の電力」の供給は小売電気事業者 株式会社中之条パワーが担います。(小売電気事業者登録番号A0218)
※「お礼の電力」の需給のため、中之条パワーと需給契約の締結が必要となります。(現在の電力会社と併用の契約はできません。)

今後の展望

- 「地域のエネルギーを地域で活用」の推進の一助に
  - 木質バイオマス
  - 小水力発電

  → 再生可能エネルギーに関しては安定的な電源ほど開発に多くの時間と困難をともなう
- 電力の地産地消の一層の推進と供給拡大
  - 多様な電源からの調達機会が増えることを希望
  - さらなる需要拡大に取り組む
- 地域の魅力づくりのために役立ちたい
  - 見学会、体験ツアー、エコツアー
  - 地域新電力、地域エネルギーセミナー
- 暮らしに役立つ「地域新電力」へ